



表紙写真

【さとうきび刈り】

(伊良部島)



伊良部島は、沖縄本島から南西に約320kmの位置にある宮古諸島の中の一つで、人口6,055人、世帯数2,633戸(平成20.11月末住基台帳)の小さい島ながら、美しい海や豊かな自然など大きな魅力を秘めた島です。島の主要産業は農業と漁業であり、基幹作物としてはやはりサトウキビです。

その伊良部島で、県内のトップを切って昨年12月10日から今期サトウキビの製糖操業が始まりました。

今期のサトウキビの出来具合は、天候に恵まれ、台風等の影響もほとんど受けなかったことから昨年よりもしっかりと良いキビに育ち、糖度の上昇と収量の増産が見込まれています。

特集

仕事の窓

局の動き

01

年頭のご挨拶

内閣府沖縄総合事務局長 福井 武弘

02

総務部

平成21年度内閣府沖縄担当部局予算概算決定

04

開発建設部

那覇空港へのご意見を募集しています

08

仕事の窓 財務部

第19回法人企業景気予測調査

10

仕事の窓 経済産業部

産業クラスター計画 OKINAWA型産業振興プロジェクト

12

仕事の窓 運輸部

「YOKOSO! JAPAN トラベルマート2008秋」を開催!

13

仕事の窓 運輸部

「観光立国推進リレーションポジウム in 沖縄」を開催!

14

仕事の窓 運輸部

廃油処理事業について

15

総務部 県内各地で「競争政策に関する有識者との懇談会」を開催

経済産業部・農林水産部 「農商工連携フォーラム in 沖縄」を開催

農林水産部 IPMをご存知ですか

経済産業部 平成20年度工業標準化功労者に対する沖縄総合事務局長表彰

開発建設部 「沖縄の伝統工芸品展」を開催

運輸部 平成20年度年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施

18

なかゆくい *シリーズ

~おぼえてください! 合い言葉は「毎日くだもの200グラム!」~

20

内閣府だより

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構一般公開
OPEN HOUSE 2008について

21

お知らせ

沖縄の
伝統的工芸品 #11
八重山ミンサー
やえやまみんざー



(登録商標)

産地組合: 竹富町織物事業協同組合
石垣市織物事業協同組合
(平成元年4月11日伝産指定)

伝統的工芸品とは
伝統的技術又は技法によって製造された工芸品で
経済産業大臣が指定したものをいいます。沖縄には13品目が指定されています。

ミンサーの語源については諸説ありますが、ミンは「綿」、サーは「狭」のことであり、「綿狭織(めんさおり)」又は「綿狭帯(めんさおび)」の下略ではないかと言われています。中央アジアのアフガニスタン地方に源流をもつ小さな絹の帯が、シリクロードを通じ、チベット、中国等を経て伝來したものと考えられています。

八重山ミンサーは、綿糸を藍で染めて織った幅一寸五分(約5.6センチ)から三寸(約11.3センチ)程度の細帯であり、五つと四つの白抜きの四角()の絹模様を交互に連続して配して織られるところに特徴があります。

五つ玉と四つ玉の組模様は「いつ世までも」との願いが込められており、二本の絹縞は「道を踏み外すことなく、未永く、この愛を育てて欲しい」、また、両脇のムカデ模様(ヤシラミ織)には「足繁く通って欲しい」との意味があり、女性が愛する男性のために心を込めて丁寧に織りあげていました。

八重山地方では、婚約成立の記念に女性から男性にミンサーを贈る風習が近年まで続いている。

